

化学系薬学部会 第4回次世代シンポレクチャーシップ賞 受賞講演報告

稲垣雅仁

Masahito INAGAKI

東海国立大学機構名古屋大学理学研究科特任助教



筆者は第21回次世代を担う有機化学シンポジウムで第4回レクチャーシップ賞を受賞し、本シンポで招待講演をされた Korea Advanced Institute of Science and Technology (KAIST) の Sunkyu Han 先生をホストとする、韓国での講演ツアーが実現した。Han 先生からの紹介により、筆者同様核酸化学を専門とする Kyungpook National University (KNU) の Gil Tae Hwang 先生および Chungbuk National University (CNU) の Ki Tae Kim 先生の研究室も訪問することができた。10月3日に韓国に入国し、翌日 Hwang 先生が所属している KNU を訪問した。KNU での発表は4日夕方に予定されていたため、Hwang 先生の案内で寿城池と桐華寺を観光した。桐華寺では、韓国語で Promotion を意味するお守りをプレゼントしていただき、今後の研究発展とキャリアアップを応援してくださった。KNU のセミナーでは、Hwang 研の学生ほか多くの先生方に参加いただき、講演会後の食事も含め活発な議論と交流ができた。

翌5日には Ki Tae Kim 先生が所属する CNU での講演が予定されており、東大邱から清州に移動した。清州に到着後、Kim 先生と Woon Yong Sohn 先生と合流して、昼食の席で韓国の大学での研究生活について教えていただいた。Sohn 先生は日本の大学で助教をされた経歴があり、日本のことについても会話が弾んだ。CNU での講演会は、筆者が初めての海外講演者であり、記念すべき会になったようである。CNU の先生方は、研究室間の垣根がなく、共同研究を行ったり、良い論文が出た時にはみんなでお祝いをしたりと、協力して研究成果を出していくような環境が垣間見られた。ちょうど筆者が訪問した翌日には、Cheoljae Kim 先生の *Angew. Chem. Int. Ed.* への論文採択のお祝い会が予



写真1 KAIST メンバーでの夕食時

ホストの Sunkyu Han 先生(右奥)と筆者(左前から2番目)。

定されていたようである。

KAIST での発表は、10月10日に行った(写真1)。KAIST では Special seminar として大々的に告知いただき、非常に多くの方がセミナーに参加していただいた。Han 先生からは日本の核酸化学のライジングスターであると、過分なご紹介をいただき身の引き締まる思いであった。セミナーが始まる前には、Han 先生、Jin Young Kang 先生、Yong Woong Jun 先生の研究室を訪問し、1対1のディスカッションを行った。特に、Jun 先生は同年代で同じ核酸化学分野の研究者であり、密な議論を行えたとともに、非常に良い関係性を築くことができた。

今回の講演ツアーでは、日本と韓国の研究環境の違いなど視野を広げる良いきっかけとなった。また、専門分野を問わず、多くの方々と交流できる良い機会となり、韓国との国際共同研究などさらに研究を発展できればと考えている。

キーワード

次世代シンポレクチャーシップ賞、講演ツアー、韓国